

JP146 球磨川河口（くまがわかこう）

熊本県：八代市

位置	N 32° 28′ E 130° 33′
面積	1,200ha

環境構成【干潟／河川】

球磨川が八代海に注ぐ河口に発達した干潟である。八代海には約 4,200ha の干潟が残されており、球磨川河口周辺には 1,000ha を超す干潟が形成されている。砂質干潟であったが、現在では砂泥質の干潟となっている。河口付近にはヨシ原が発達し、シオクグ、ナガミノオニシバなどの塩生植物の群落も見られる。河口に位置する水島にはマサキトベラ群集が形成され、大鼠蔵島はタブノキ、クスノキ、アラカシなどの常緑樹でおおわれている。後背地は干拓地であり、水田、イグサ田、ハス田が広がっている。



写真提供：高野茂樹

選定理由

A1	ズグロカモメ
A4i	ソリハシシギ・チュウシャクシギ

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

<その他>

東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地

保全への脅威

- ・沿岸での堤防補強等の工事の進行
- ・八代海大築島周辺の埋立事業の進行
- ・後背地における防鳥網の使用
- ・球磨川河口左岸干潟における一般の人によるアナジャコ採りなどの人数が増え、オーバーユースが心配される。
- ・前川河口右岸に八代市のゴミ焼却センターが建設工事進行中

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
日本野鳥の会熊本県支部、
生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある
詳細、具体例等：堤防補強工事・砂利等によるヨシ原形成事業が施工されています。
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 環境教育活動：実施者（八代市役所、日本クロツラヘラサギネットワーク）
内容：子どもエコクラブ、クロツラヘラサギ観察会
干潟を守る日探鳥会（日本野鳥の会熊本県支部、八代野鳥愛好会）
探鳥会（日本野鳥の会熊本県支部、八代野鳥愛好会）
- ・ モニタリング調査：実施者（環境省、日本クロツラヘラサギネットワーク、日本野鳥の会熊本県支部）
内容：モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査、クロツラヘラサギ生息調査、八代海・球磨川下流域カモ類調査
ガンカモ一斉調査（日本野鳥の会熊本県支部、八代野鳥愛好会）

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会熊本県支部
- ・ 八代野鳥愛好会

見られる鳥

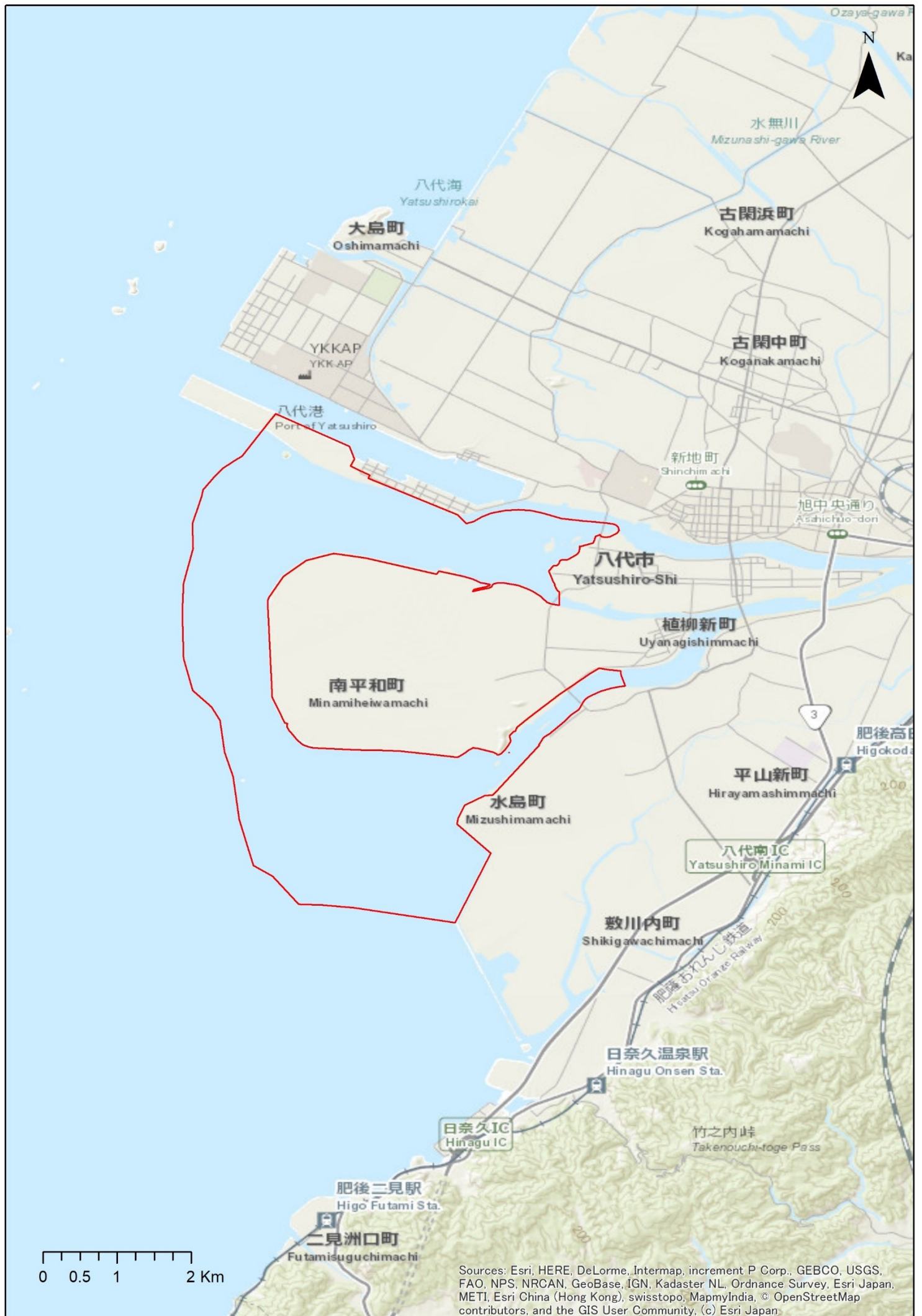
河口干潟には一年を通して野鳥が飛来し、その種類は 90 種類以上となる。春と秋にはシロチドリ、ハマシギ、キアシシギ、ソリハシシギなどシギ・チドリ類が約 40 種類飛来する。冬にはカモメ類やカモ類が多く、ズグロカモメ、オオズグロカモメ、ツクシガモ、トモエガモなども見ることができる。ここ数年はクロツラヘラサギの飛来が安定し、マナヅル、ナベヅルが羽を休めることもある。

留鳥 ダイサギ、コサギ、アオサギ、ミサゴ、トビ、カワセミ、キジバト、モズ、イソ

	ヒヨドリ、ホオジロ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
夏鳥	アジサシ、コアジサシ、ツバメ、セッカ
冬鳥	カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、ウミアイサ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、シロチドリ、ダイゼン、タゲリ、ハマシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ウミネコ、ズグロカモメ、オオズグロカモメ、ハクセキレイ、ツグミ、ミヤマガラス
旅鳥	アマサギ、チュウサギ、メダイチドリ、シロチドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、オバシギ、エリマキシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、チュウシャクシギ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会熊本県支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community, (c) Esri Japan